

# げんき人

GENKIJIN

保存版

(公財)世田谷区保健センター  
世田谷区三軒茶屋2-53-16 TEL3410-9101  
www.setagayaku-hokencenter.or.jp

## 「がん検診」

もっと早く受けていれば...  
では、遅すぎます。

発見経緯でこんなに違う生存率!

いまは生存率が上がっているんだね!  
95%以上治るがんもあるらしいし...  
これからは、積極的にがん検診をうけなきゃね!



### 各がんの発見経緯別5年相対生存率

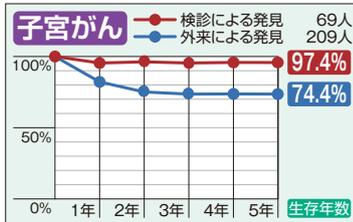
(動)がん研究振興財団「がんの統計'05」より  
※1993~96年診断患者。6登録(宮城・山形・新潟・福井・大阪・長崎)集計結果

部位	検診・健診による発見		その他・外来受診などによる発見	
	症例数	5年相対生存率	症例数	5年相対生存率
胃がん	10,441件	87.8%	32,958件	53.3%
大腸がん	5,380件	91.9%	24,931件	62.4%
乳がん	1,360件	92.8%	12,550件	83.7%
子宮がん	714件	94.1%	4,537件	71.3%
肺がん	4,249件	45.8%	16,332件	16.3%

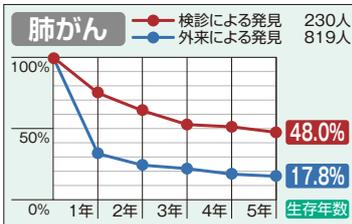
30%以上の差は大きい!

### 発見経緯別相対生存率推移

1998~2000年の岩手県における診断例(上皮がんを除く) 岩手県 保健福祉部 調べ



5年相対生存率とは: がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合が、日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べて、どのくらいの割合か表したものです。



がん検診の目的は、がんによる死亡率を減らすことだけではなく、治療後のQOL(生活の質)を低下させないことにあります。一般に、進行がんの治療後は、治療の副作用や再発への不安や動揺、また金銭面での負担増などで、総合的にQOLが低下すると言われています。